

1 題材名

『地図ソフトでタイムスリップする100年前の私の学校』＜3年～6年歴史的分野・総合的学習の時間＞
～千葉市の100年を自分の学校で考えてみると～

2 授業のねらい

- ①今年が千葉市市政100周年の記念の年です。そこで、社会科や総合的学習の時間の題材として、今から約100年前後の自分の学校の地域とその周辺の街の歴史を振り返り、市政100周年の学習とします。
- ②千葉市には創立140年以上の歴史のある学校や、合併10年の新しい学校まで様々な学校があります。そこで、約100年前後の自分の学校の地域と今の学校の地域を、インターネット上の地図ソフト（今昔マップ）の古い地図と新しい地図で見くらべて、何がどのように変化したのかを調べます。
- ③各学校の周辺の歴史は、学校の周年記念誌や職員室前の「学校の歩み」での掲示板で調べたり、千葉市発行の様々な写真集や書籍を活用したりしながら、千葉市の歴史と重ね合わせて考えていきます。

3 指導計画上の位置付け

- 3年「市の様子と人々のくらしのうつりかわり」の単元の授業と関連しています。
- 6年歴史学習「世界に歩みだした日本」の大正・昭和の時代の歴史と関連させて、千葉市のことを学ぶという位置づけでも学習できます。
- 総合的学習の時間や追加の社会科学学習の1～2時間のテーマ学習としても考えられます。各学校の要望により学習内容や指導時間は相談して対応することは可能です。

4 予想される授業の流れと指導資料

- ①千葉市市制100年間の年表を示します。千葉市は1921年(大正10年)に開始されたことを確認します。
*「千葉市市制施行100周年記念誌」の年表や写真から紹介
- ②各学校創立年を各学校の資料から調べて、千葉市年表と照らし合わせて、どの時代か考えます。
- ③以下の3つの観点で、現在と今から約100年前後の学校やその周辺の様子をインターネット上の地図ソフトの古い地図と新しい地図（今昔マップ）や写真で以下の観点で比べて話し合います。
 - a 今も昔もあるもの（学校、神社お寺、田畑、住宅、地名、鉄道、など）
 - b 昔あって今は無いもの（昔の生活、軍関係の建物、昔の学校の校舎 子供の身なりや服装、など）
 - c 今あって昔に無いもの（埋立地、団地、ショッピングセンター、公共施設、高速道路、など）
- ③各学校の周年記念誌や千葉市の写真集の写真や本館の資料を活用して、校舎の風景・授業の様子・児童の服装等の様々な観点で、学校生活の違いを話し合います。
- ④自分の学校や地域の移り変わりで、発見したことや印象に残ったことを話し合ったりカードに書いたりして、発表します。

＜活用する資料＞

- ◎地図ソフト（今昔マップ）
- ◎市内各学校の周年記念誌の記述や写真
- ◎「千葉市の教育 写真編」千葉市教育センター作成
- ◎絵で見る図でよむ千葉市図誌
- ◎当館平成23年特別展図録「千葉市の教育」
- ◎「写真集 明治大正昭和 千葉」

5 指導上の留意点、その他

- ◇自分たちの学校や地域の歴史を振り返ることはとても大切な学習だと思います。学校の昔の姿と今の姿を比べながら、様々な困難を経て現在に至る自分の母校や地域への愛着を深めたいと思います。
- ◇100年以上に渡る様々な困難や発展を経て、人口98万人を超える政令指定都市として大きく発展してきた千葉市の姿を学ぶことによって、千葉市の市民としての誇りを持てる学習にしたいと思います。
- ◇この学習は、各学校創立年や各学校の保存資料によって、それぞれ学習内容が異なります。そこで、こんな学習ができますという例示を示しました。具体的な内容は、各学校との相談時に決めます。